

持ち直しの動きがみられる

(前回:持ち直しの動きがみられる)

生産は持ち直しの動きがみられる。輸出は2か月連続の減少。
個人消費は回復傾向にある。雇用は改善している。

■ 10月生産:持ち直しの動きがみられる

(9月:持ち直しの動きがみられる)

- 鉱工業生産指数 107.6
前月比 ▲0.9% (3か月ぶり)
前年同月比 +0.5% (2か月連続)
- 全13業種中、上昇は5業種
輸送機械工業、電気・情報通信機械工業、化学・石油石炭製品工業等
- 低下は8業種
電子部品・デバイス工業、汎用・生産用・業務用機械工業、金属製品工業等 (出所:九州経済産業局)

■ 10月輸出:減少(2か月連続)

(9月:減少)

- 輸出額 8,476億円
前年同月比 ▲1.8% (2か月連続)
- 主要品目
自動車 2,313億円 ▲0.1% (4か月連続)
電子部品 1,660億円 +1.0% (13か月連続)
鉄鋼のフラットロール製品 452億円 ▲11.1% (7か月連続)
- 国別
中国 1,555億円 ▲15.9% (4か月連続)
韓国 1,209億円 +11.6% (7か月連続)
米国 1,045億円 ▲5.1% (2か月連続)

(出所:財務省)

■ 10月個人消費:回復傾向にある

(9月:緩やかな上昇傾向にある)

- 百貨店(全店) 401億円▲0.7% (32か月ぶり)
- スーパー(全店) 1,045億円+2.1% (34か月連続)
- コンビニ 1,092億円 +1.8% (6か月連続)
- 家電大型専門店 224億円 ▲6.1% (5か月ぶり)
- ドラッグストア 683億円 +2.8% (29か月連続)
- ホームセンター 273億円 ▲5.1% (3か月ぶり)
- 新車登録台数 36,611台 +4.1% (2か月連続)

(出所:九州経済産業局ほか)

■ 10月雇用:改善している

(9月:改善している)

- 有効求人倍率 1.22倍
前月比+0.01ポイント(2か月ぶり)
- 新規求人倍率 2.13倍
前月比+0.13ポイント(2か月ぶり)
- 新規求人数
医療・福祉、卸売業・小売業、建設業、製造業、宿泊業・飲食サービス業の順に多い。

(出所:管内各労働局)

■ 業況:悪化

- 12月の業況DI (%ポイント)
全産業 +18 変化幅▲2
製造業 +8 変化幅▲1
非製造業 +23 変化幅▲2
- 先行き(3月)
全産業 +15 変化幅▲3
製造業 +6 変化幅▲2
非製造業 +20 変化幅▲3

(出所:日本銀行福岡支店 短観12月)

■ 設備投資:増加

- 23年度
全産業 +28.9%
製造業 +28.1%
非製造業 +30.3%
- 24年度(計画)
全産業 +2.8%
製造業 +8.0%
非製造業 ▲7.0%

(出所:日本銀行福岡支店 短観12月)

■ 10月住宅建設:増加(2か月ぶり)

- 新設着工戸数 7,189戸
前年同月比 +12.0%
(2か月ぶり)
- 持家 2,280戸
+22.7% (21か月ぶり)
- 貸家 3,338戸
+1.9% (2か月ぶり)
- 分譲 1,543戸
+35.4% (2か月ぶり)

(出所:国土交通省)

■ 10月公共投資:増加(2か月連続)

- 工事請負金額 1,630億円
前年同月比 +20.3% (2か月連続)
- 発注者別前年同月比
国 +55.7%
独立行政法人等 +265.7%
県 +2.2%
市町村 +22.2%

(出所:西日本建設業保証株)

■ 10月倒産:増加(2か月連続)

- 倒産件数 76件
前年同月比 +40.7%
- 負債総額 65.1億円
+0.6% (2か月ぶり)
- 業種別件数(前年同月比)
製造業 12件 (+33.3%)
卸・小売業 15件 (+15.4%)
建設業 12件 (0.0%)

(出所:㈱東京商工リサーチ福岡支社)

注)生産及び雇用は前月比、業況は前期比、輸出、個人消費、設備投資、住宅建設、公共投資、倒産は前年同月(期)比で比較。